

平成 28 年 2 月 5 日

報道発表資料

平成 28 年度川崎市立川崎高等学校附属中学校の 入学者決定検査における出題ミスについて

平成 28 年 2 月 3 日に実施した平成 28 年度川崎高等学校附属中学校入学者決定検査において、下記のとおり出題ミスがありましたので、お知らせいたします。

1. 適性検査の概要

検査日時： 平成 28 年 2 月 3 日(水) 9:00～9:45 適性検査 I
10:20～11:05 適性検査 II
合格発表： 平成 28 年 2 月 10 日(水)

2. 適性検査の内容・受検者数

- (1) 検査の内容： 適性検査 I・II
- (2) 受検者数： 542 名
- (3) 検査のねらい：

【適性検査 I】文章や図や表・データの内容を的確にとらえ情報を読み解き、分析し表現する力をみます。また、作文を含みます。

【適性検査 II】自然科学的な問題や数理的な問題を分析し考察する力や、解決に向けて思考・判断し、的確に表現する力をみます。

3. 出題ミスについて

平成 28 年 2 月 4 日に、教育委員会の担当者が「適性検査 II」の **問題 1** の市歌の漢字表記が「川崎市史」の表記とは異なることに気付き、ミスが発覚した。

4. 「適性検査 II」 **問題 1** のミスの内容

- (1) 「適性検査 II」の **問題 1** は、川崎市歌の改訂による歌詞の変遷についての問題であるが、2 ページの〔資料 2〕「川崎市歌の変化の様子」の昭和 9 年、昭和 44 の歌詞の表記に出題ミスがあった。【正誤表】参照。
- (2) 6 ページの小問 (3) は、漢字（赫）の読みに関する問題であるが、〔資料 2〕の歌詞が誤表記であっても、照合によって正解が導き出せるため、採点上の影響はないと判断する。【当該箇所】参照。
- (3) 6 ページの小問 (4) は、平成 16 年の改訂における歌詞の漢字表記の変化の理由を、与えられた資料（グラフ）をもとに考察する問題であるが、昭和 9 年から 1 番の当該箇所の表記は（科学）であり、変化は存在しないため、問題として成立しない。【当該箇所】参照。

【正誤表】

〔誤〕

昭和9年	昭和44年	平成16年
<p>川崎市歌（1934）</p> <ol style="list-style-type: none"> 見よ東に寄する暁潮 富士の姿を真澄に仰ぎ 赫く雲を彩る多摩川 響き渡るサイレン 今ぞ明け行く我が川崎市 東海道の俤いづこ 左右に展ぶる大都の翼 高らかに打つ文化の脈搏 化学に樹つ栄光 勢へ努めて若き生命を 巨船繋ぐ埠頭の影は 太平洋に続く波の穂 黒く沸き立つ煙の焰は 空に記す日本 翳せ我等が強き理想を 大師に消えぬ御法の燈火 あがめて興る工業都市は 汗と力に世界の資源を 集め築く基礎 今ぞ輝く大川崎市 	<p>川崎市歌（1969）</p> <ol style="list-style-type: none"> 見よ東に寄する暁潮 富士の姿を真澄に仰ぎ 赫く雲を彩る多摩川 響き渡るサイレン 今ぞ明け行く我が川崎市 東海道の俤いづこ 左右に展ぶる大都の翼 高らかに打つ文化の脈搏 化学に樹つ栄光 勢へ努めて若き生命を 巨船繋ぐ埠頭の影は 太平洋に続く波の穂 汗と力に世界の資源を 集め築く基礎 今ぞ輝く大川崎市 	<p>川崎市歌（2004）</p> <ol style="list-style-type: none"> 見よ東に寄する暁潮 富士の姿を真澄に仰ぎ かがやく雲をいろどる多摩川 希望満つる朝風 今ぞ明けゆくわが川崎市 東海道のおもかげいづこ 左右に展ぶる大都の翼 高らかに打つ文化の脈はく 科学に樹つ栄光 勢い努めて若き生命を 巨船つなぐふ頭の影は 太平洋に続く波の穂 汗と力に世界の資源を 集め築く基礎 今ぞ輝くわが川崎市

〔正〕 ※『川崎市史 資料編4上』（平成3年3月）による

昭和9年	昭和44年	平成16年
<p>川崎市歌（1934）</p> <ol style="list-style-type: none"> 見よ東に寄する暁潮 富士の姿を真澄に仰ぎ 赫く雲を彩る多摩川 響き渡るサイレン 今ぞ明けゆくわが川崎市 東海道の俤いづこ 左右に展ぶる大都の翼 高らかに打つ文化の脈搏 科学に樹つ栄光 勢へ努めて若き生命を 巨船繋ぐ埠頭の影は 太平洋に続く波の穂 黒く沸き立つ煙の焰は 空に記す日本 翳せ我等が強き理想を 大師に消えぬ御法の燈火 あがめて興る工業都市は 汗と力に世界の資源を 集め築く基礎 今ぞ輝く大川崎市 	<p>川崎市歌（1969）</p> <ol style="list-style-type: none"> 見よ東に寄する暁潮 富士の姿を真澄に仰ぎ かがやく雲をいろどる多摩川 響き渡るサイレン 今ぞ明けゆくわが川崎市 東海道のおもかげいづこ 左右に展ぶる大都の翼 高らかに打つ文化の脈はく 科学に樹つ栄光 勢へ努めて若き生命を 巨船つなぐふ頭の影は 太平洋に続く波の穂 汗と力に世界の資源を 集め築く基礎 今ぞ輝く大川崎市 	<p>川崎市歌（2004）</p> <ol style="list-style-type: none"> 見よ東に寄する暁潮 富士の姿を真澄に仰ぎ かがやく雲をいろどる多摩川 希望満つる朝風 今ぞ明けゆくわが川崎市 東海道のおもかげいづこ 左右に展ぶる大都の翼 高らかに打つ文化の脈はく 科学に樹つ栄光 勢い努めて若き生命を 巨船つなぐふ頭の影は 太平洋に続く波の穂 汗と力に世界の資源を 集め築く基礎 今ぞ輝くわが川崎市

【当該箇所】

(3) 会話中の (え) にあてはまる言葉をひらがなで答えましょう。

(4) 下線部③について、たろうさんとはなこさんが川崎市について調べてみたところ、川崎市の産業についてのグラフ【資料4】～【資料6】が見つかりました。川崎市歌の歌詞の中で“かがく”にあてられた漢字が変えられた理由として考えられることについて、【資料4】～【資料6】を比べ、読み取った情報をもとにして書きましょう。

5. 採点上の取扱い

「適性検査Ⅱ」問題1 (4) については、全員正解として15点を与える。

6. 今後の対応

今後、適性検査問題作成の際のチェック体制を見直し、再発防止に努めていくこととする。

【問い合わせ先】

川崎市教育委員会総務部

教育改革推進担当

担当課長 増田 実

指導主事 岩木 正志

電 話 044-200-3067

044-200-3066

F A X 044-200-2853